

# 常なる磐

つねなる いわ season II

令和 4年 3月 18日(金)

第 75 回 卒業証書授与式

## ◇ (祝) 卒業証書授与式

## 校歌・卒業の歌とともに

### 常磐東小学校 校歌

一、

みどりを競う <sup>みね そ</sup> 峰染めて  
<sup>あさひ</sup> 朝日がのぼる <sup>そら</sup> 山の空  
<sup>うた</sup> 歌えよ心も <sup>こころ</sup> はればれと  
<sup>ときわひがし</sup> 常磐東の <sup>まなびやに</sup>  
 よろこびあふれて <sup>かね</sup> 鐘がなる

二、

みんなの胸に <sup>おね</sup> ふれながら  
 せせらぎつづく <sup>あおきがわ</sup> 青木川  
<sup>うで</sup> 腕くむかげさえ <sup>かがやいて</sup>  
<sup>ときわひがし</sup> 常磐東の <sup>まなびやに</sup>  
 正しくきたえる <sup>み こころ</sup> 身と心

三、

<sup>にほん</sup> 日本のおすを <sup>になうゆめ</sup>  
 わたしもぼくも <sup>もっている</sup>  
<sup>あお</sup> 上げよ <sup>にじ</sup> 明るい <sup>はし</sup> 虹の橋  
<sup>ときわひがし</sup> 常磐東の <sup>まなびやは</sup>  
<sup>やまばと</sup> 山鳩おれとぶ <sup>かせ</sup> 風のなか



8名の卒業生。彼らとは、小学校課程6年の内、最後の2年の繋がりしかない。しかし、彼らの「己を律し、己を磨き続けることのできる正統的な生き方」を2年も見れば、その前4年間の学校生活を推し量るには十分である。彼らは、「心身を鍛え、健やかに学校生活を送り、小学校課程を見事に全うし終えた」と言い切れる。

## 巣立ちの歌(卒業の歌)

作詞 村野四郎

作曲 岩河三郎

一、

花の色 いろ くも 雲の影

懐かしい なつ おも あの思い出 で

過ぎし日の す まど のこ 窓に残して

巣立ちゆく す だ きょう わか 今日の別れ

いざさらば いざさらば せんせい さらば先生

いざさらば いざさらば とも さらば友よ

美しい うつく あ す 明日の日のため

二、

風の日も かぜ あめ 雨の日も

励みきし はげ まな にわ 学びの庭

かの教え おし むね いた 胸に抱きて

巣立ちゆく す だ きょう わか 今日の別れ

いざさらば いざさらば せんせい さらば先生

いざさらば いざさらば とも さらば友よ

輝かしい かがや あす 明日の日のため

特に、最上級生となったこの1年、いや、昨年度末に6年生(現中1)が卒業して以降は、下級生の手本として、心のギアを数段階あげて学校生活を送ることができた。誰もが見て分かるほどの変化・伸長は、彼ら自身に秘めた内的意識の急加速度的な成長を物語る。

この成長を支えたのが、数年間温め続けてきた友との心の結び付きである。育み、深めた友との絆だ。そして、相互のはたらきかけ合いにより、見えない心の糸は綱のごとく太くなった。

忘れてはならないのが、師との出会いだ。6か年、5人の担任の出会いが成長を加速させる。「彼の(師の)教え」を吸収し、着実に積み重ねた結果、今の成長がある。

1年(H28)	鈴木美香子 先生	2年(H29)	大盛 伸也 先生
3年(H30)	伊藤 貴子 先生	4年(R元)	浅野 亮太 先生
5年(R2)	恩田 友恵 先生	6年(R3)	浅野 亮太 先生

そして何より、師の教えを受け止め、吸収し、己の力に変える素直さ、受け止める器が備わっている点が彼らの持ち味である。これは、生を受けてから今日に至るまで、両親をはじめとする家族の教授による支えに他ならない。

周りに感謝しながら、備えた力を高め続けよ。いざさらば 卒業生。美しい明日、輝かしい明日を切り拓いて行け。